

校内研修計画

山梨市立三富小学校

1. 学校課題

本校では、「楽しい学校(楽校)の創造」をめざして、一昨年度・昨年度と、NIEを活用した研究に取り組んできた。昨年度は、言語活動の充実との関連を図り、様々な教科でのNIEを活用した授業研究を通して、児童の思考力・判断力・表現力が高められ、ある程度の成果が上がった。

その一方で、NIEを生かして、もっとすすんで楽しく学ぶ児童の育成が図れるのではないかと、という声もあった。

NIEのより効果的な活用の仕方を研究したり、もっと様々な場面でNIEを活用したりすることにより、さらにすすんで楽しく学ぶ児童の育成をめざすことが、本校の学校課題であると考えている。

2. 研究主題 『楽しい学校(楽校)の創造』

～NIEを活用して、すすんで楽しく学ぶ児童の育成をめざす～

3. 主題設定の理由

(1) 学校教育目標の達成をめざして

本校では、「楽しい学校(楽校)の創造」を、学校教育目標の基本目標に掲げている。

校内研究を通してめざすものも、まさに学校教育目標に掲げていることと同様であるので、本校では上記の研究主題を設定している。

(2) 昨年度までの校内研究の成果と課題を生かして

本校では、一昨年度・昨年度と、NIEを活用した研究に取り組んできた。その結果、「児童が新聞に関心をもつようになった。」「児童が、気になる新聞記事を切り貼りしてスクラップをし、感想を書く活動に取り組んだことで、表現力が向上した。」といった成果が挙げられた。

その一方で、「もっとすすんで楽しく学ぶ児童の育成が図れるのではないかと。」「研究を焦点化してほしい。」といった課題が出された。

今年度の校内研究は、昨年度までの研究の成果と課題を生かして取り組んでいきたい。

具体的には、新聞記事の中から、自分の身近な生活に関わる事柄を見つけたり、世の中で話題となっている社会的事象を授業の中で取り上げたりして、児童相互の考えを述べ合うような活動を展開していきたい。そのことによって、児童がすすんで楽しく学び、「楽しい学校(楽校)の創造」につながるのではないかと考えた。

以上のような理由から、上記の研究主題と副主題を設定した。

4. 研究の具体的内容与方法

(1) 授業実践・授業研究へ取り組む。

- ・ 授業研究はブロック研究を基盤にして進める。ブロックより1人が全体に検証授業を提案し、全体会で協議を行う。指導助言者を招いて、授業と研究内容について指導・助言をしてもらう。
- ・ 検証授業をする学年以外も一人一実践として授業公開を行う。なるべく全員が参観し相互の学習の機会とする。

(2) どんな実践が効果的なのか、理論や先行研究を学び、研究を進める。

- ・ 講師を招聘し、理論や先行研究の様子などを学ぶ。
- ・ NIEの先進校の実践や文献、参加した研修会などの伝達をする学習会を行う。

(3) ファミリーフォーカスを推進する。

- ・ 家庭で新聞に親しむ「ファミリーフォーカス」は、社会教育の場づくりになる。児童たちが得た成果などを保護者へ情報発信する。

(4) 昨年度まで実践し、成果を上げてきた活動に、継続して取り組む。

- ・ 朝のふれあいタイム(10分学習)で、NIEを取り入れる。
- ・ 新聞感想文に取り組む。